

フィリピン教育省防災担当局長ならびに第 7 地域教育関係者とともに学校防災に関する意見交換を行いました(2016/6/27)

テーマ：学校防災、フィリピン、教育セクターにおける防災の主流化
場所：文部科学省 初中等教育局ならびに災害科学国際研究所 1 階セミナー室

2016 年 6 月 27 日、国際協力事業団（JICA）プロジェクトの一環で訪日中のフィリピン教育省の防災管理局长ミランダ・コー氏ならびに第 7 地域教育地方事務所 ジュリエット・ジェルダ所長等が本研究所の桜井愛子准教授（情報管理・社会連携部門）等とともに文部科学省初中等教育局健康教育・食育課吉門直子安全教育調査官他を訪問し、日本とフィリピンの学校防災の取組みについて情報交換を行いました。学校での災害時の被害減少に対する考え方や学校防災に関する教員研修について意見交換が行われ、研修を受けた教員の数、予算、教員のコミットメント等について日本とフィリピンの取り組み課題での共通点が見出されました。

その後、フィリピン教育省一行は、災害科学国際研究所を訪問し、東日本大震災における学校の対応や被害について佐藤健教授（情報管理・社会連携部門）から、東日本大震災後の宮城教育大学における教職課程での防災教育の取組みについて小田隆史 宮城教育大学特任准教授から説明を受けました。フィリピン側からは、セブ、ボホールを中心とする第 7 地域の最近の地震や台風災害と学校被害や教育復興についての経験が紹介され、活発な意見交換が行われました。桜井愛子准教授からは、防災教育国際協働センターの活動や災害科学国際研究所が作成した仙台平野巡検ガイドや台風ヨランダ後の防災教育教材の紹介が行われました。

フィリピン教育省一行は、特定非営利活動法人シーズ・アジアが台風ハイエンで被害を受けた第 7 地域を対象に、JICA、フィリピン教育省、兵庫県教育委員会の協力により、「セブ州内における地域との連携による防災教育の技術移転事業」の一環で訪日しました。



文科省訪問の様子



災害科学国際研究所にて

文責：桜井 愛子（情報管理・社会連携部門）